

次期意見広告運動について

吉川 勇一

今年の憲法記念日に、『読売新聞』全国版など3紙に反改憲の意見広告を載せた運動は、さまざまな意味でこれまでの運動を大きく発展させたものであった。現在、同運動が発行したパンフレット『武力で平和は創れない——改憲必要論』についての私たちの見解への反響は驚くほどで、注文が殺到、増刷を重ねて、発行から1カ月も経たないうちに発送部数は1万部にもなろうとしている。改憲をめぐる民衆の間での議論が始まりつつあることを示すものだろう。

来年のこの運動の目標、計画については、早急に案が発表され、遅くとも11月中には、これまでの賛同者、賛同団体のご検討を求めることになるはずである。

その際、ここに掲げた今回の賛同者の府県別一覧表は、さまざまな示唆を与えてくれる。賛同者の数も、賛同寄金の額も、これまでの運動の中で最大に達したのだが、今後、それをさらに上げる可能性と必要性が大きいことも明瞭だ。人口比で見えた場合、賛同者の比の最も高い京都府でも、千人中で16人という割合だ。

すぐに実現できるとは言えないだろう

意見広告運動第5期賛同者の府県別数

(ただし、賛同者数の中には、団体も1人として計上してあるから、厳密に正確ではなく、もっと多いはず。) 人口は総理府統計局発表の2003年のもの。

	賛同者	人口 (単位1,000人)	人口比 (10万人中)人	順位		賛同者	人口 (単位1,000人)	人口比 (10万人中)人	順位
北海道	524	5,659	9.26	7	滋賀	61	1,366	4.47	32
青森	33	1,462	2.26	47	京都	426	2,641	16.13	1
岩手	44	1,402	3.14	43	大阪	666	8,816	7.55	13
宮城	133	2,373	5.60	23	兵庫	502	5,585	8.99	8
秋田	62	1,167	5.31	25	奈良	63	1,436	4.39	34
山形	86	1,230	6.99	17	和歌山	55	1,056	5.21	27
福島	76	2,113	3.60	40	鳥取	34	611	5.56	24
茨城	158	2,991	5.28	26	島根	21	753	2.79	45
栃木	80	2,011	3.98	39	岡山	86	1,953	4.40	33
群馬	106	2,034	5.21	27	広島	95	2,878	3.30	41
埼玉	514	7,029	7.31	15	山口	122	1,512	8.07	12
千葉	611	6,024	10.14	5	徳島	24	817	2.94	44
東京	1,562	12,310	12.69	3	香川	77	1,020	7.55	13
神奈川	1,177	8,687	13.55	2	愛媛	108	1,483	7.28	16
新潟	157	2,460	6.38	21	高知	82	807	10.16	4
富山	74	1,117	6.62	20	福岡	257	5,051	5.09	29
石川	50	1,180	4.24	35	佐賀	35	872	4.01	37
福井	33	827	3.99	38	長崎	75	1,501	5.00	30
山梨	72	887	8.12	11	熊本	124	1,855	6.68	19
長野	206	2,215	9.30	6	大分	100	1,218	8.21	10
岐阜	146	2,111	6.92	18	宮崎	38	1,164	3.26	42
静岡	241	3,793	6.35	22	鹿児島	80	1,775	4.51	31
愛知	636	7,158	8.89	9	沖縄	36	1,349	2.67	46
三重	79	1,862	4.24	35	計	10,027			

が、全国を数ブロックに分けて、それぞれの地方の代表的ローカル紙に一齐に掲載するような可能性も、この表から検討してみたらどうだろう。賛同者が増えれば、2ページ見開きの広告や、印象的な

カラー印刷も考えられる。参議院選挙前にして、次期意見広告運動の意義は非常に大きいと言わねばならない。
(よしかわ・ゆういち「市民の意見30の会・東京」事務局)